



岡山県立美術館

【岡山県立美術館】
市内電車東山線城下電停から徒歩三分、城下通りに面している。地元ゆかりの芸術家のすぐれた作品を収集・常設展示しているほか、ユニークな企画展示を行っている。
地元岡山産の通称「桜御影」と呼ばれる万成石を惜しげもなく使って作られた美術館の建物自身一見の価値がある。玄関から受付まで光をふんだんに取り入れる設計で、ロビーに立つと明るく気持ちがいい。吹き抜

けの天井がガラス張りになっている。岡山県生まれの、雪舟（総社）・宮本武蔵（美作）・浦上玉堂（浅口）・小野喬（笠岡）・池田遙邨（倉敷）などの日本画家、坂田一男（岡山）・国吉康雄（岡山）・原田直次郎（父が岡山）などの洋画家、工芸家、彫刻家の作品は、一堂に会すると壮観だ。交通至便の中心街にあるので、ふらふらと訪れるのも楽しい。以前には宮本武蔵や国吉康雄の展覧会もあったが、毎回の企画展はそのために岡山を訪れる価値のあるものが多い。是非ホームページ等で年間のスケジュールをあたっておくことをお奨めする。
ピンポイントであれば、天才画家にして三六歳の若さで亡くなった、原田直次郎の「風景」が秀逸だ。ドイツ留学時の縁で森陽外との交流もあり作品にも登場している。代表作「靴屋の親爺」は東京芸術大学に収蔵され重要文化財にも指定されているが、「風景」は軽やかで絵の中の道に吸い込まれそうだ。
日本画の作家の作品も、すぐれた作品が並んでいて、趣味に合った楽しみを可能にしてくれる展示だ。な

じみの作品に会いに行く喜びを満たしてくれる。
【岡山市立オリエント美術館】
市内電車東山線城下電停から徒歩二分、県立美術館の南隣にある。学法人岡山学園（当時の理事長安原真一郎氏からの寄贈品である、古代オリエントの美術品をベースにその後の収集品を加え、現在4800点の管理を行っている。国内唯一の専門美術館で、日本におけるオリエント研究のひとつの拠点となっている。
美術館の建物は昭和五四年に岡田信一（最高裁判所も設計）の設計で建てられた。収蔵品をありのまま見学できるよう外光を活用した自然採光を多数取り入れている。また、古代オリエントの地域にあわせた壁面をはつりて表現している。このため、中の印象が落ち着いた雰囲気となっている。今般一五年に亘って「長く地域の環境に貢献し、風雪に耐えて美しく維持され、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物」として、日本建築家三五年賞大賞を受賞した。
ピンポイントとしては、開館二五周

岡山市・倉敷市

身近な感動体験

ミュージアム見聞記

野崎 芳信

一、岡山市

岡山市内の定番観光といえば後樂園か岡山城。その近くにも、手軽に楽しめる博物館・美術館が沢山存在する。じっくり見学する価値がある施設だが、ピンポイントで事前に見学の狙いを定めておくと、密度の濃い時間を過ごすことができる。

【岡山県立博物館】

市内電車東山線城下電停から徒歩十分、後樂園正門前にある。後樂園の前後に見学するのが便利だ。かつて

吉備国として繁栄した岡山県の豊富な文化遺産を収集・保存の上、展示・公開する施設として昭和四六年に開館した。

展示は、①原始・古代、②古代・中世、③近世・民俗、④備前焼・刀剣に分けている。瀬戸内海がまた草原だった時代のナウマン象の化石、その狩をした古代打製石器、縄文土器や弥生の特殊器台、古墳時代の銅剣・銅鐔・銅鏡などの青銅器、国宝の平安末期の鎧・各時代の刀剣などの武具、歴史を語る古文書、宇喜多能家の肖像画を始めとする絵画・古備前の焼物等見所が一杯だ。

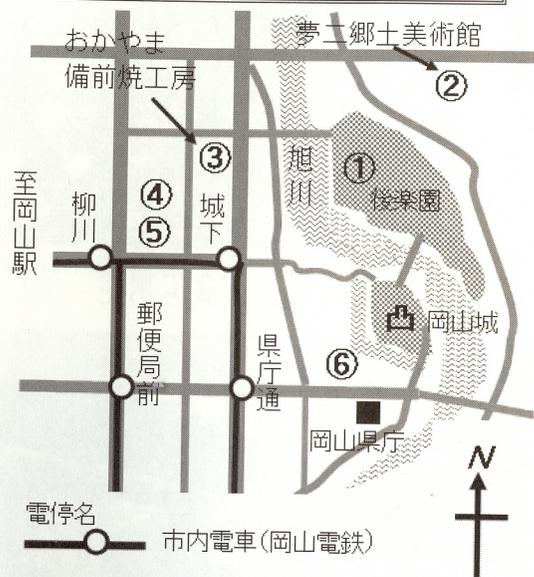
ピンポイントであれば、桃山時代の



岡山県立博物館

備前焼・三石入大甕が特にお奨めだ。現代の小振りの備前焼に比べ、その大きさに感心するが、更に水や穀物の保存・酒や醤油の醸造・紺屋の藍甕など利用方法の多様性に驚かされる。現代においても、災害の準備として備前の甕は有用ではないだろうか。
また、高瀬舟を使った江戸時代の河川交通の様子の解説も、道路や鉄道を中心の地理とは異なった視点を示しており、歴史的建造物の所在の説明を含め、県内各地を旅する参考になる。

岡山市 博物館・美術館 MAP



化財指定品をはじめとする能装束、備前鍋島などの陶磁器・洛中洛外屏風などの絵画・漆工となつている。重要文化財だけでも二五点に及んでいる。

ピンポイントをしたいが、当館はスペースが少なく常設展は行なっていない。企画展のみでの見学となつておりホームページで確認するか、友の会に

入会して案内を入手する必要がある。国宝の刀剣は、最近では昨年彦根にて、二年前に当館にて展示されている程度。洛中洛外図も、先般行なつた修理完成時にお披露目されている。

DATA

岡山県立博物館 (MAP①)

岡山市後樂園 1-5 TEL 086-272-1149
休館 毎週月曜日(休日の場合翌日)、
開館 9:00~18:00 (10-3月は9:30~17:00)
料金 大人(15歳以上) 200円、
中学生以下、65歳以上無料

URL <http://www.pref.okayama.jp/koiku/kenhaku/hakubu.htm>

岡山県立美術館 (MAP④)

岡山市天神町 8-48 TEL 086-225-4800
休館 毎週月曜日(休日の場合翌日)、年末年始
開館 9:00~17:00(入館は16:30まで)
料金 大人 300円、大・高生 200円、
中・小学生、65歳以上無料

URL <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kenbi/kenbi/htm>

岡山市立オリエント美術館 (MAP⑤)

岡山市天神町 9-31 TEL 086-232-3636
休館 毎週月曜日(休日の場合翌日)、年末年始
開館 9:00~17:00(入館は16:30まで)
料金 大人 300円、大・高生 200円、
中・小学生 100円

URL <http://www.city.okayama.okayama.jp/orientmuseum/>

林原美術館 (MAP⑥)

岡山市丸の内 2-7-15 TEL 086-223-1733
休館 展示替期間(不定期)、年末年始
開館 9:00~17:00(入館は16:30まで)
料金 大人 300円、大・高生 200円、
中・小学生 100円

URL <http://www.hayashibara-museumofart.jp>

※MAP ②夢二郷土美術館関連記事はP.29~33に掲載。市内電車路線図全体はP.78参照。

年に市民の募金で取得した、アッシリア・レリーフ「有翼鷲頭精霊像」に尽きる。アッシリア拡大の礎を築いたアッシュルナツィ、バル2世(BC9世紀)の宮殿を飾った壁面装飾の一部で、細密な薄肉浮彫で表現された精霊のモチーフは、当時の精神世界を語る上で貴重な資料とのこと。芸術的にも筋肉の表現をはじめ極めて興味深い作品だ。

12世紀イランの陶器ながら金属的な光沢を出すラスタール彩鳥型水注も、その遊びあるデザインと、金にまねた色合いをあえて作り出した作家の



岡山市立オリエント美術館・エントランス



岡山市立オリエント美術館・展示

心が出ていて楽しめる。異文化であるペルシャもシルクロードで正倉院に繋がっていたように、現代の文化同士の衝突も早く解決してほしいとの学芸員の思いは貴重だ。

館内の喫茶室「イブリック」では本格的アラビックコーヒーが楽しめる。一風変わった香料入りのコーヒーを飲むと時間の感覚が遠ざかる気分だ。

【林原美術館】

市内電車東山線城下電停から徒歩七分、岡山城を望む内堀沿いにある。地元財界の林原一郎氏の個人収集し



林原美術館

た刀剣をはじめとして、岡山藩主池田家の大名道具の一括引き受けなどで東洋美術工芸品を加え、昭和三九年に開館した。建物は前川國男の設計で、景観に調和した近代建築となっている。正門は江戸時代の長屋門を移築したもので、収蔵品にあつた趣向となつている。

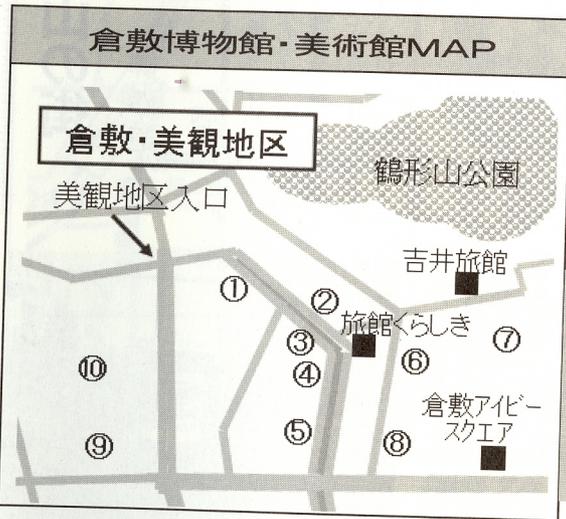
約一万点を誇る収蔵品の中身は、個人収集品と大名道具のため、多様な構成になつている。当館の売りは二口の国宝(福岡一文字の吉房・備前長船の長光)をはじめとする刀剣・武器・宸翰を多数含む書蹟、多数の重要文



日本郷土玩具館の展示

江戸期の米蔵を改装して開館した。倉敷民藝館とは並んでいるが、民芸ショップが表にあるため、いつも観光客で混雑している。

現在のオーナーのおじいさん大賀さんが、収集した四万点の江戸から昭和にかけて作られた、国内・海外の郷土玩具の中から、五千点が展示されている。今では手に入らないものも多数とのこと。数が多いため、壁や天井にまで展示されている。品数・色彩と形の多様性から、部屋に入ると軽



- ①大原美術館 ②倉敷考古館
- ③加計美術館
- ④大原美術館・児島虎次郎記念館
- ⑤いがらしゆみこ美術館
- ⑥オルゴールミュージゼ・メタセコイア
- ⑦倉敷市立美術館
- ⑧倉敷市立自然史博物館

いめまいを覚えるほど。展示の中では、各地の玩具が人気とのこと。ショップでは、地元岡山の男子初節句の「張子の虎」を販売している。いい習慣は残したい。

DATA

倉敷民藝館 (MAP④)

倉敷市中央 1-4-11 TEL 086-422-1637
 休館:毎週月曜日(休日の場合翌日):年末年始
 開館:9:00~17:00(冬は16:15)
 料金:大人 700円、大・高生 400円、
 中・小学生 300円

URL http://www.iwe.kusa.ac.jp/FOLK/folk_op.html

日本郷土玩具館 (MAP⑤)

倉敷市中央 1-4-16 TEL 086-422-8058
 休館:無休(1月1日のみ)
 開館:9:00~17:00
 料金:大人 500円、大・高生 300円、
 中・小学生 200円

URL <http://gangukan.jp/>

二、倉敷市

倉敷の定番観光地は、美観地区に代表される町並みだ。町並み整備の先端を走って他の自治体のお手本となってきた。代表施設としては、大原美術館・アイビスクエアがあまりに有名だ。和洋の大原美術館の見学だけで数日かける価値はある。倉敷の街は、あても無く散歩するのが一番だ。私設の美術館も多数あり、時間と好みに合わせて楽しめる。今回大原美術館以外でじっくり見学したの

【倉敷民藝館】

倉敷駅から徒歩十五分、美観地区の中にある。東京駒場の日本民藝館について、昭和二三年に日本で二番目にできた民藝館だ。倉敷ガラス・焼物 備中和紙・花筵・倉敷段通・倉敷本染手織研究所の織物など岡山の民芸品のほか、全国・世界各地の民芸品約一万点を所蔵し、企画展などで展示換えしている。

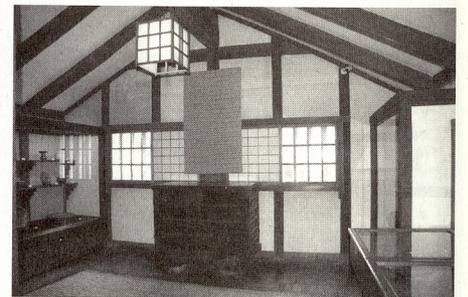
建物は、江戸時代後期に建てられ



倉敷民藝館・白壁の門

た米蔵を活用して再生したもの。今から五十年前にすでに古民家再生の試みを実行していたのだ。比較的観光客も少なく、ゆっくり見学できる。今では作り手も途絶えてしまい、その物が多数あるのが心配だ。

品物は一つ一つが単語である。単語は連なって散文となり、選ばれ整えられて詩となる。陳列は品物による詩である。陳列は一つの美の創造である。倉敷民藝館の陳列は単なる地域別



倉敷民藝館・館内

時代別、用途別の陳列ではなく、選ばれた美しい品物が唱和し、建物にこだまする詩歌である。

これは、国内・海外の民芸品を収集した、外村吉之介初代館長の言葉だ。手仕事の美を普段の生活に取り入れるとの考えは、最近の日本文化見直しの気運から注目されている。

【日本郷土玩具館】

倉敷駅から徒歩十六分、美観地区の中にある。昭和四二年にこちらも